

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	21042
事業名	補助金					
評価担当課	所属名	教)学校教育部 教育推進課				
	課長名	石田	担当者名	保木	電話番号	011-211-3851
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input checked="" type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	部活動に参加する生徒のいる家庭の負担を軽減し、生徒の健全育成を図ることを目的とする。			
		長期	本市の学校教育水準の維持・向上に関する調査研究等を行っている教育研究団体に対して、事業経費の一部を補助することにより活動を奨励し、また、団体を育成することで本市学校教育の振興を図ることを目的とする。			
	取組内容	札幌市の教育に振興している教育研究団体への事業費及び教育研究団体全国大会札幌開催に対して補助金の交付を行っている。また、中体連の全道・全国大会及び中文連の全国大会に参加する生徒のために旅費を補助している。				
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の教育を振興している教育研究団体に対し、事業費及び教育研究団体の各種大会開催に係る補助を行うことにより、教育研究団体の活動を奨励した。 (令和4年度決算額: 22, 310千円)</li> <li>補助金を支給することにより、部活動に参加する生徒のいる家庭の負担を軽減できた。 (令和4年度決算額: 24, 901千円)</li> </ul>					
事業実施における工夫点	中体連、中文連に補助金を支給することで、大会に参加する生徒のいる家庭に、効率的に旅費の支給が出来ている。					
対象者	教育研究団体	開始	令和3 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市教育研究団体事業費補助金交付要綱					
他都市の状況	他都市においても、各種教育研究団体への補助を行っているが、団体の事業規模等多くの違いがあるため、比較は難しいと考えられる。全国・全道大会への旅費の補助については、他都市においても本市と同程度の基準で行っている都市が多数である。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費	45,402	60,500	47,211	62,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費	7,200	7,200	7,200	7,100
計(事業費+人件費)	52,602	67,700	54,411	69,100
事業費の内訳	令和4年度決算	補助金47, 211千円		
	令和5年度予算	補助金62, 000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	中体連全国大会参加人数			
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定	
	171	148	223	210	
活動指標2	指標名				
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	補助金を支給することにより、部活動に参加する生徒のいる家庭の負担を軽減できた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	各研究団体の事業規模に応じ、適正に補助額を決定している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	中体連、中文連に補助金を支給することで、大会に参加する生徒のいる家庭に、効率的に旅費の支給ができています。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	概ね教育研究団体の要望額を補助しているが、予算が限られているため全額とはなっていない。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	各団体の事業内容や補助対象とする事業等を精査し、適正な補助を行っていく。				
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0千円	
今回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	今後においても本市の教育水準の維持・向上に関する調査研究を行っている教育研究団体に対して必要な補助を行うことにより、本市の教育振興に資することが必要であるが、予算の確保が難しい現状がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 厳しい財政事情の中ではあるが、事業内容を精査し、適正な補助を継続していく必要がある。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 事業費の縮小は部活動を行う中学生のいる家庭の負担増につながるため、引き続き予算の確保に努めていく。		見直し効果額	0千円